

# 政治資金パーティー

主催：憲法ネット103 2024年「政治とカネ」勉強会 会場：ZOOMによるオンライン  
日時：2024年4月6日（土）14:00～15:30（講演60分＋質疑応答30分）

上脇博之（かみわき・ひろし）

神戸学院大学教授（憲法学）

公益財団法人「政治資金センター」理事、「政治資金オンブズマン」代表

## はじめに

### （1）憲法ネット103「政治とカネ」4回連続学習会

第1回 3月3日（日）14:00～15:30 政党・政治団体の収入源

第2回 4月6日（土）14:00～15:30 政治資金パーティー（本日）

第3回 5月6日（月・振替休日）14:00～15:30 政治資金の使途不明金

第4回 6月8日（土）14:00～15:30 政治資金と憲法改正国民投票

### （2）企業等からの寄附金受領にとって重要となる政治団体の種類（政治資金規正法第21条）

#### 企業・労働組合・任意団体の政治活動のための寄附（政治献金）受領の可否

政治団体の種類	要件	企業献金
政党＝右の2つの要件のうち1つでも充足する政治団体	・政治団体に所属する衆議院議員又は参議院議員を5人以上有するもの ・直近の衆参各選挙のいずれかで「政治団体の得票総数」が「有効投票の総数の100分の2以上」であるもの	○
政治資金団体	政党のために資金上の援助をする目的を有する団体（国民政治協会、国民改革懇話会、ホリエモン新党）	○
資金管理団体	公職の候補者が、その代表者である政治団体のうち、その者のために政治資金の拠出を受けるべき政治団体と指定したもの	×
他の政治団体	派閥の政治団体、地域政党「大阪維新の会」、業界の政治団体など	×

### （3）「政治資金パーティー」にとっては政治団体の種類は一応関係せず

・企業・労働組合等も（「政治資金団体」・「政党」以外の）政治団体が主催する政治資金パーティー券を購入できる（政治資金パーティー券の購入は個人も政治団体も可能）。

### （4）政党・政治団体の政治資金の収入源の概要のまとめ

カネの種類	政党 交付金	立法 事務費	企業等か らの寄附	個人・政治団 体からの寄附	政治資金パ ーティー	事業収入	党費 会費
政党	○	○	○	○	○	○	○
政治団体	×	×（△）	×	○	○	○	○

## 1. 「政治資金パーティー」に関する政治資金規正法の定め

### (1) 「政治資金パーティー」とは？

「政治資金パーティー」＝「**対価を徴収して行われる催物**」で、当該催物の対価に係る収入の金額から**当該催物に要する経費の金額を差し引いた残額**を

当該催物を開催した者又はその者以外の者の政治活動（選挙運動を含む。これらの者が政治団体である場合には、その活動）に関し支出することとされているもの」（政治資金規正法第8条の2）

※「催物」（人を集めて行なうもの）でない事業は政治資金パーティーではない！

※「残額」の生じない予定の催物は政治資金パーティーではない！

### (2) 政治資金パーティー券販売・購入の制限

・「**1つの政治資金パーティー**」150万円（政治資金規正法第22条の8第1項・第3項）

### (3) 政治資金収支報告書にパーティー券購入者別の収入記載義務なし

（ただし、後述の20万円超については記載義務あり）

#### 各寄附、事業収入、そのうちの政治資金パーティーの各収入の全国集計額

（1991年、2017年～2022年）総務省集計

年	個人からの寄附	法人等からの寄附	政治団体からの寄付	事業収入	そのうち政治資金パーティー収入
1991年	約489.9億円	約727.0億円	約699.5億円	約644.3億円	
2017年	約299.2億円	約97.5億円	約241.5億円	約516.6億円	約189.5億円
2018年	約252.9億円	約87.8億円	約230.4億円	約547.7億円	約228.9億円
2019年	約322.6億円	約92.7億円	約275.7億円	約509.6億円	約194.7億円
2020年	約242.4億円	約80.9億円	約258.8億円	約409.6億円	約127.0億円
2021年	約292.3億円	約99.2億円	約251.4億円	約382.0億円	約107.9億円
2022年	約275.3億円	約83.8億円	約236.8億円	約454.0億円	約181.1億円

### (4) 政治資金パーティー収入の透明度の低さ

「収入」の明細記載基準の違い（政治資金「収入」における透明度の違い）

収入の種類	明細を記載する基準	政治資金収支報告書に記載する明細事項
寄附	同一の者からの寄附で、 <b>その金額の合計額が年間5万円を超えるもの</b>	寄附者の氏名、住所及び職業、当該寄附の金額及び年月日
「 <b>一の政治資金パーティー</b> 」の対価に係る収入	同一の者からの政治資金パーティーの対価の支払で、 <b>その金額の合計額が20万円を超えるもの</b>	対価の支払をした者の氏名、住所及び職業並びに当該対価の支払に係る収入の金額及び年月日

## 「収入」の明細記載義務の有無に関する比較例

	「収入」の明細の記載義務あり	「収入」の明細の記載義務なし
寄附	・ A氏が政治団体Xに20◇△年●月◆日に <u>2万円</u> 寄附し、政治団体Xに■月○日に <u>4万円</u> 寄附（ <u>計6万円</u> ）。	・ A氏が政治団体Xに20◇△年●月◆日に <u>2万円</u> 寄附し、政治団体Xに■月○日に <u>3万円</u> 寄附（ <u>計5万円</u> ）。
政治資金パーティー収入	・ A団体が◇△年●月◆日に政治団体Xの <u>パーティー①</u> のために <u>25万円</u> 支払った。 ・ B団体が20◇△年●月◆日に政治団体Yの <u>パーティー①</u> のために <u>15万円</u> 支払し、■月○日に政治団体Yの <u>パーティー①</u> のために <u>15万円</u> 支払った（ <u>計30万円</u> ）。	・ A団体が◇△年●月◆日に政治団体Zの <u>パーティー①</u> のために <u>20万円</u> 支払い、■月○日に政治団体Zの <u>パーティー②</u> のために <u>20万円</u> 支払い、△月×日にZの <u>パーティー③</u> のために <u>20万円</u> 支払い、▼月●日にZの <u>パーティー④</u> のために <u>20万円</u> 支払った（ <u>計80万円</u> ）。

## 2. 政治資金パーティーの実態

### (1) 透明度の低い政治資金パーティー収入

#### 「晋和会」政治資金パーティー券購入者の明細の記載されている割合（低い透明度）

事業の種類	開催日	収入(円)	明細記載(円)	20万円超購入者と金額(円)	割合(%)
安倍晋三後援会朝食会	2017・7・24	26,340,000	1,900,000	富士フィルム(株) 500,000	7・21
安倍晋三後援会朝食会	2017・10・6	24,420,000	1,900,000	製薬産業政治連盟 400,000	7・78
安倍晋三後援会朝食会	2017・12・12	22,290,000	1,900,000	日本医師連盟 1,000,000 (3回とも同じ)	8・52

### (2) 高すぎるほどの収益率

#### 安倍晋三首相の「晋和会」（資金管理団体）の政治資金パーティーの場合

パーティー名称	開催日	収入(円)	参加権者	支払者数(1人平均額)	支出(円)	収益(円)	収益率(%)
安倍晋三後援会朝食会	2017・7・24	26,340,000	1317人	360名(7・3万円)	1,902,717	24,437,283	92・78
安倍晋三後援会朝食会	2017・10・6	24,420,000	1221人	332名(7・3万円)	1,707,060	22,712,940	93・01
安倍晋三後援会朝食会	2017・12・12	22,290,000	1115人	317名(7・0万円)	1,610,705	20,679,295	92・77

#### ◆収益率が高い理由

・パーティー券を買った者が全員参加しているわけではない（会社や業界の政治団体がパーティー券を大量購入）・・・**参加者の支払い分は事実上の寄附！**

## 3. 自民党派閥の政治資金パーティーの実態と裏金づくり

### (1) 自民党5派閥の政治資金パーティー20万円超収入明細不記載（又は過少記載）

・5派閥：「清和政策研究会」（＝細田・安倍派）、「志帥会」（＝二階派）、「平成研究会」（＝竹下・茂木派）、「志公会」（＝麻生派）、「宏池政策研究会」（＝岸田派）

- ・「パー券収入脱法的隠蔽 2500万円分不記載」（しんぶん赤旗日曜版 2022年11月6日号）
- ・「自民“脱法”パー券積もりに積もって4000万円」（しんぶん赤旗日曜版 2023年11月5日号）
- ・政治団体の政治資金収支報告書をチェックして20万円超のパーティー券購入を確認！
- ・会社（企業）は収支報告書制度はないので、その購入の真偽については確認できなかった！

私が刑事告発したときの20万円超収入明細不記載額

政治団体名	18年～20年	～20年追加	2021年	21年150万円超	22年150万円超	18年～22年追加	総計
清和政策研究会	1946万円	—	—	6万円		1338万円	3290万円
志帥会	468万円	80万円	206万円	220万円	194万円	408万円	1576万円
平成研究会	526万円	—	94万円			218万円	838万円
志公会	340万円	70万円	—		180万円	318万円	918万円
宏池政策研究会	212万円	—	—			90万円	302万円
合計	3492万円	150万円	300万円	226万円	374万円	2372万円	6924万円

(2) 自民党派閥の政治団体の政治資金パーティー総収入の過少記載（裏金づくり）

◆2020年

政治団体	当初の収入額	訂正後の収入額	差額	キックバック	裏金プール
清和政策研究会	1億0262万円	2億6383万円	1億6121万円	1億5877万円	319万円
志帥会	2億2767万円	3億2047万円	9280万円	2424万円	1億4118万円
平成研究会	1億8146万円				
志公会	2億1706万円				
宏池政策研究会	1億5533万円	1億6429万円	896万円		2501万円

※宏池政策研究会は2019年までに1605万円の裏金プールあり

◆2021年

政治団体	当初の収入額	訂正後の収入額	差額	キックバック	裏金プール
清和政策研究会	1億0002万円	2億7187万円	1億7185万円	1億6095万円	1409万円
志帥会	2億7803万円	2億9773万円	1970万円	3045万円	1億3244万円
平成研究会	1億9269万円	1億9271万円	2万円		2万円
志公会	2億1938万円				
宏池政策研究会	1億4967万円				2501万円

◆2022年

政治団体	当初の収入額	訂正後の収入額	差額	キックバック	裏金プール
清和政策研究会	9480万円	1億9762万円	1億0282万円	1億1770万円	839万円
志帥会	1億8845万円	2億1209万円	2364万円	964万円	1億4837万円
平成研究会	1億8142万円	1億8420万円	278万円		280万円
志公会	2億3511万円				
宏池政策研究会	1億8329万円				2501万円

**(3) 政治資金パーティー収入は自民党派閥の政治団体にとっての最大の収入源**

**◆2020年**

政治団体	本年の収入	パーティー収入額	割合
清和政策研究会	3億4523・0万円	2億6383・0万円	<b>76・4%</b>
志帥会	約3億7816・0万円	3億2047・0万円	<b>84・7%</b>
平成研究会	約2億1686・0万円	約1億8146・0万円	<b>83・7%</b>
志公会	約2億7181・5万円	約2億1706・5万円	<b>79・9%</b>
宏池政策研究会	約2億6328・8万円	約1億6428・7万円	<b>62・4%</b>

**◆2021年**

政治団体	本年の収入	パーティー収入額	割合
清和政策研究会	3億5557・0万円	2億7187・0万円	<b>76・5%</b>
志帥会	3億5769・0万円	2億9773・0万円	<b>83・2%</b>
平成研究会	約2億2210・9万円	約1億9270・9万円	<b>86・8%</b>
志公会	約3億1989・2万円	約2億1938・1万円	<b>68・6%</b>
宏池政策研究会	約2億5592・0万円	1億4967・0万円	<b>58・5%</b>

**◆2022年**

政治団体	本年の収入	パーティー収入額	割合
清和政策研究会	2億8835・0万円	1億9762・0万円	<b>68・5%</b>
志帥会	約2億4652・1万円	2億1209・0万円	<b>86・0%</b>
平成研究会	約2億1890・0万円	約1億8420・0万円	<b>84・1%</b>
志公会	約2億8658・3万円	約2億3331・2万円	<b>81・4%</b>
宏池政策研究会	約2億2935・1万円	1億8329・0万円	<b>79・9%</b>

**(4) 自民党派閥の政治資金パーティーも収益率の高い事業**

**◆2020年**

政治団体	パーティー収入額	パーティー経費支出	収益	収益率
清和政策研究会	2億6383・0万円	2681・2万円	2億3701・8万円	<b>89・8%</b>
志帥会	3億2047・0万円	約1953・2万円	3億0093・8万円	<b>93・9%</b>
平成研究会	約1億8146・0万円	約1980・0万円	1億6166・0万円	<b>89・1%</b>
志公会	約2億1706・5万円	約1817・6万円	1億9888・9万円	<b>91・6%</b>
宏池政策研究会	約1億6428・7万円	約2577・2万円	1億3851・5万円	<b>84・3%</b>

**◆2021年**

政治団体	パーティー収入額	パーティー経費支出	収益	収益率
清和政策研究会	2億7187・0万円	約2887・6万円	2億4299・4万円	<b>89・4%</b>
志帥会	2億9773・0万円	約1576・2万円	2億8196・8万円	<b>94・7%</b>
平成研究会	約1億9270・9万円	約2091・1万円	1億7179・8万円	<b>89・1%</b>
志公会	約2億1938・1万円	約2074・3万円	1億9863・8万円	<b>90・5%</b>
宏池政策研究会	1億4967・0万円	約2550・9万円	1億2416・1万円	<b>83・0%</b>

## ◆ 2022年

政治団体	パーティー収入額	パーティー経費支出	収益	収益率
清和政策研究会	1億9762・0万円	約2591・9万円	1億7170・1万円	86・9%
志帥会	2億1209・0万円	約1573・9万円	1億9635・1万円	92・6%
平成研究会	約1億8420・0万円	約1981・9万円	1億6438・1万円	89・2%
志公会	約2億3331・2万円	約2042・6万円	2億1288・6万円	91・2%
宏池政策研究会	1億8329・0万円	約1689・3万円	1億6639・7万円	90・8%

### 4. 任意の団体も「政治資金パーティー」を開催することは許容

- ・開催するパーティー会費の支払いが政治資金パーティーへの会費の支払いであると告知する義務あり  
(政治資金規正法第22条の8第2項「政治資金パーティーを開催する者は、当該政治資金パーティーの対価の支払を受けようとするときは、あらかじめ、当該対価の支払をする者に対し、当該対価の支払が政治資金パーティーの対価の支払である旨を書面により告知しなければならない」)
- ・任意の団体は政治資金収支報告書を作成・提出する義務なし(原則)・・・収入1000万円以上の場合は例外として政治資金収支報告書を作成・提出する義務あり(政治資金規正法第18条の2)

#### 事業収入の記載義務内容(政治資金規正法第12条第1項第1号)

機関紙誌の発行その他の事業(政治資金パーティー)による収入の記載すべき明細	「特定パーティー」収入の記載すべき明細
その事業の種類及び当該種類ごとの金額	パーティーごとに、その名称、開催年月日、開催場所及び対価に係る収入の金額並びに <b>対価の支払をした者の数</b>

### 5. 政治資金パーティー以外の収益率の高い事業

- ・オンライン事業は「催物」ではないので「政治資金パーティー」ではないから、20万円超の会費収入の収支報告書明細記載義務なし!

#### 資金管理団体「敬人会」(代表・武見敬三) 2021年オンライン勉強会・セミナー

事業の種類	収入金額	経費支出	収益	収益率
敬人会勉強会	1603万2000円	202万8723円	1400万3277円	87・3%
敬人会勉強会	1213万0000円	213万4254円	999万5746円	82・4%
敬人会勉強会	1162万0000円	170万6984円	991万3016円	85・3%
武見セミナー	1760万5000円	188万0225円	1572万4775円	89・3%

#### 資金管理団体「敬人会」(代表・武見敬三) 2022年オンライン勉強会・セミナー

事業の種類	収入金額	経費支出	収益	収益率
敬人会勉強会	1309万0000円	198万6499円	1110万3501円	84・8%
敬人会勉強会	1352万0000円	195万9274円	1156万0726円	85・5%
敬人会勉強会	1269万0000円	187万4202円	1081万5798円	85・2%
武見セミナー	1885万0000円	207万6115円	1677万3885円	89・0%

## 6. 政治資金パーティーに関する改革

### (1) 裏金づくりをなくせるのか？

- ・透明度を高める案（収入明細の記載義務を20万円超から5万円超に！）
- ・しかし、この案では裏金づくりはなくせない・・・収支報告書制度のない会社の支払額は確認できないから！

### (2) 事実上の寄附をなくせるのか？

- ・主催者は「パーティー券購入者は全員参加すると思って準備した」と言い訳するのでなくせない！

※裏金づくりも事実上の寄附もなくすためには政治資金パーティーも収益率の高すぎる事業も禁止するしかない！

### ◆参考文献

- ・『どう思う？ 地方議員削減』日本機関紙出版センター、2014年
- ・『財界主権国家・ニッポン 買収政治の構図に迫る』日本機関紙出版センター、2014年
- ・『告発！ 政治とカネ 政党助成金20年、腐敗の深層』かもがわ出版、2015年
- ・『追及！ 安倍自民党・内閣と小池都知事の「政治とカネ」疑惑』日本機関紙出版センター、2016年
- ・『日本国憲法の真価と改憲論の正体』日本機関紙出版センター、2017年
- ・『ここまできた小選挙区制の弊害 アベ「独裁」政権誕生の元凶を廃止しよう！』あけび書房、2018年
- ・『内閣官房長官の裏金 機密費の扉をこじ開けた4183日の闘い』日本機関紙出版センター、2018年
- ・『安倍「4項目」改憲の建前と本音』日本機関紙出版センター、2018年
- ・『逃げる総理 壊れる行政 追及！！「桜を見る会」&「前夜祭」』日本機関紙出版センター、2020年
- ・『忘れない、許さない！ 安倍政権の事件・疑惑の総決算とその終焉』かもがわ出版、2020年
- ・富田宏治・上脇博之・石川康宏『いまこそ、野党連合政権を！』日本機関紙出版センター、2020年
- ・上脇博之・阪口徳雄・前川喜平・小野寺義象・石戸谷豊・岡田正則・松宮孝明『ストップ！！国政の私物化 森友・加計、桜、学術会議の疑惑の究明する』あけび書房、2021年
- ・『政党助成金、まだ続けますか？』日本機関紙出版センター、2021年。
- ・河井疑惑をただす会・上脇博之『だまっとれん 河井疑惑 まだ終わっていない』日本機関紙出版センター、2022年
- ・『日本維新の会の「政治とカネ」「身を切る改革」の正体を暴く』日本機関紙出版センター、2022年
- ・『憲法の破壊者たち 自民・国民・維新・勝共・日本会議の改憲案を検証する』(日本機関紙出版センター・2022年)
- ・『なぜ「政治とカネ」を告発し続けるのか ～議会制民主主義の実現を求めて』日本機関紙出版センター、2023年。